

| | 内容 | 回答 |
|----|--|----------------------------------|
| 1 | 府道を拡幅して歩行者と車を分離してほしい | (ア) 道路を ご覧ください |
| 2 | 道路が狭く、歩道もなく、歩いて自転車に乗っていても危なく怖いです。交通量が多い場所に歩道をつけることを考えて下さい（道路と公園のことは他市から四條畷市に転入された若い子育て世代の意見でもあります） | |
| 3 | 府立高校生、市民の自転車乗車マナーアップ（講習の実施） | (イ) 交通安全 をご覧ください |
| 4 | 府道四條畷停車場線の朝夕の車が多くて中野新町の生活道路に車が入りいつ事故が起きるか心配しています何か対策ありますか | |
| 5 | 中野新町には公園一ヶ所所有りますが広場がないので南小を開放出来れば子供たちボール遊び縄跳びなど健康的な遊び出来ると思います | (カ) ボール遊び可能な場所 をご覧ください |
| 6 | 地区内の公園は新しく住宅が建ちやっどできた公園です。子供たちが遊ぶにはせまく、十分ではありません。安全に遊べる公園が必要です。現状は、道路や駐車場で遊び危険です。一つの策として、小学校の校庭の解放を考えてみてはどうでしょうか | |
| 7 | 南小学校はいまは少年野球のグラウンドとして開放していますが今後もその方針ですか。子供たちが遊べる広場も頭の中に入れて下さい。野球として使用する場合、フェンス高く設置して下さい。西側住民の事も考えて | |
| 8 | 学校編成はどうなるのでしょうか？小学校の近くに住宅が建ち子供達がふえています。近くの小学校に行けると引っ越しされた方で大勢います。どうなるか、みなさん不安に思っています | (キ) 小中学校の再編 をご覧ください |
| 9 | 学校編成について、地域の意見を取り入れるのはよいが、中野新町の生徒数は少ないので「多数決」で決めないでほしい | |
| 10 | 防災に関してですが、今年やっと避難所利用計画の説明がありました。課題はたくさんあり、どんどん話しを進めてほしいです。市の防災訓練で感じるのですが、市の方の参加が少ないこと、毎年していることに進歩がない、危機管理ができているのでしょうか？ | (ケ) 防災対策 をご覧ください |
| 11 | 保育園の申し込みをするために、朝早くから寒い中、小さな子どもさんを連れて並ぶ姿を見ました。申し込みの方法は他にはないでしょうか？考えていただけないでしょうか？(他市では電話での申し込みができると聞きました) | (セ) 子育て支援 をご覧ください |

12. 防災の事ですが、中野新町は棟続きの家が多く高齢者も多く、火災が一番心配です

A.

四條畷市域内においては、どの地域であっても、大東四條畷消防組合等による消火活動が可能ですので、ご安心ください。

地区においては、路上駐車をしない、道路上に物を置かないなど、消防車ができるだけ早く到着できるような環境作りをしていただくようお願いします。

市としては、大東四條畷消防組合等と連携しながら、引き続き火災の予防に取り組んでまいります。

13. 市役所の前に来客者も使える喫煙場所を設置してほしい（自転車置き場のあたり）。職員の喫煙している姿がみっともない

A.

「四條畷市受動喫煙の防止に関する条例」の制定をめざし、平成30年5月から6月にかけて、受動喫煙および路上喫煙に関する市民アンケートを行いました。

本年8月に策定した条例（案）では、公共的施設のうち、学校園など、主な利用者が子ども等の場合は敷地内全面禁煙とし、様々な人が利用する市役所などについては、敷地内の屋外に喫煙場所を設置し、分煙することとしております。そのため、市役所内の喫煙場所については、設置を検討してまいります。

14. 南小学校の朝食子ども食堂のことですが、今年1月ごろ始まり1年間ということで12月に終了予定です。予算がつかず、続けるなら子ども食堂でどうぞお願いしますって感じです。市の教育委員会はどう考えているのでしょうか？もっと子供たちのことを考えて下さい。

A.

南小における「朝食子ども食堂」は、朝食を自宅ですべてから学校に来るとい、生活習慣を身に付けていただくこと、きっちり栄養をとって授業を受けていただくことで、集中力が高まり、学力向上につながるとの狙いから始めた取り組みでございます。

1年間実施した効果検証として教職員・子ども・保護者へのアンケートを実施したところ、その結果から朝ご飯の必要性や家庭で朝食をとることの大切さをご認識いただけたことがわかりましたので、本来朝食はご家庭ですべていただくべきとの教育上の観点から、運営団体の代表との協議の結果、一区切りとすることにいたしました。

平成30年度からは本市教育センターの事業として、子ども達に対する生活面の支援や人間関係づくりを趣旨に、放課後等を利用して朝食やおやつ作りなどの調理実習を、月2回程度実施しております。

15. 子どもさんが2人いる場合に、2人が同じ保育所に通えないことがあると聞きました。うまく配慮はできないのでしょうか？

A.

複数のお子さまがいらっしゃる場合には、できるだけ同じ園に入所できるよう配慮しておりますが、定員に空きがなく、やむをえず別々の園に通っていただく場合もございますが、その場合でも、「保育施設等変更希望届」をご提出いただいていると、希望される園に空きが出た場合は、優先的に転園していただくことができます。

16. 賃貸マンションの家賃補助（若年層、新婚世帯）

A.

平成30年度の下期から、市が計画的に住宅施策を展開していくうえでの基本方針である「四條畷市住生活基本計画(住宅マスタープラン)」の改訂作業に取り組みます。住宅全般にかかる住みよさ、まちの魅力向上の観点、また、他の市民との公平性や財政的な持続性の観点も含め、検討の参考にさせていただきます。

17. カラコロ体操（※）は広まっていますが、最近少しマンネリ化？下火？って感じます。少し新しいものを加えて、サポーターを増やして、健康寿命を延ばすために健康体操を広めてはどうでしょうか

A.

先行市の取組みを参考に地域包括支援センターと協議を重ねていきます。また、現在実施しているカラコロ体操（音楽に合わせて身体を動かし身体<カラダ>も心<ココロ>も元気になる介護予防体操）についても推進し、運動サポーターを養成しています。

18. 粗大ごみの不法投棄、粗大ごみの有料化で回収の順番がなかなか来ず、所有しているマンションに不法投棄される

A.

有料化への切り換えに伴い平成29年10月から30年3月までの間、受付オペレーターを通常の2名から5名に、収集量も通常の2.5倍を増やして収集体制を強化して対応いたしました。

現時点においては、有料化前と同じ水準（申し込み後1か月程度）の回収となっており、不法投棄も改善されていると思われます。

19. 四條畷神社の階段の中程にあるトイレの件観光の玄関となっていますが、あのトイレあまり綺麗とは思いません。なんとか出来ませんか

A.

四條畷神社敷地内のトイレについては、神社の所有物であることから、一定のご負担を神社にお願いすることが前提となります。

また、多額の整備費用が見込まれるため、国の交付金等財源が確保できた場合に実施をしたいと考えています。